

文化庁

令和3年度子供文化芸術活動支援事業

令和四年十月二十三日(日) 午後一時始「十二時開場」

於 国立能楽堂

橘香会

能 三

輪

白式神神楽 シテ 加藤 眞悟

狂言 磁

石

シテ 野村 萬齋

能

船弁慶

前後之替
早装束
ツレ 梅若 紀佳

仕舞

采夕郎

女顔 鄂
クセ アト

梅若 紀彰
梅若 万佐晴
梅若 万三郎

〔主催〕 公益財団法人 梅若研能会
◎子供無料席あり(95席 先着順)

橘香会

令和四年十月二十三日(土)午後一時始(十二時開場)

於国立能楽堂

能三輪

白式神楽

前シテ(里の女)
後シテ(三輪明神)
ワキ(玄寶僧都)
ア伊(三輪の里人)

加藤 眞悟
安田 登
深田 博治

後見 梅若万佐晴

梅若 泰志
山中 迺晶

地謡

青木 健一 角当 直隆
古室 知也 青木 一郎
長谷川晴彦 梅若 紀彰
遠田 修 八田 達弥

狂言磁石

(二時五十分頃)

シテ(すっぱ)
アド(田舎者)
アド(宿屋)
後見

野村 萬齋
野村 裕基
石田 幸雄
飯田 豪

…休憩二十分…

(三時二十五分頃)

仕舞

邯鄲
夕顔
采女

梅若 紀彰
梅若万佐晴
梅若万三郎

地謡

梅若 志長
古室 知也
八田 達弥
長谷川晴彦
青木 健一

能船弁慶

(三時五十分頃)

前後之替
早装束

前シテ(静御前)
後シテ(平知盛の霊)
ツレ(源義経)
ワキ(武蔵坊弁慶)
ワキツレ(従者)
ワキツレ(従者)
アイ(船頭)

梅若 久紀
梅若 紀佳
森 常好
梅村 昌功
吉田 祐一
高野 和憲

後見 中村 裕

地謡

萩原 郁也 梅若 泰志
梅若 志長 馬野 正基
中村 政裕 伊藤 嘉章
遠田 修 梅若 紀長

(終演予定五時十五分)

三輪 白式神楽

大和の国・三輪山の麓に庵を結ぶ玄寶僧都のもとに、櫛や水を手向けに毎晩訪れる女がある。今宵も訪れた女は、夜寒の頃とて衣を一枚恵んでくれと頼む。住まいはどこかと尋ねる僧都に、女は「三輪の山もとを訪ねよ」と言い残して消え去る。明神に参詣した里人が、神木の杉の枝に僧都の衣がかかっているのを見て、庵に知らせる。僧都が三輪の社を訪れると、なるほど女に与えた衣が枝にかかっている。見ると金色の文字で、「三つの輪は清く清きぞ唐衣くると思ふな取るとは思わじ」と和歌が記してあり…。

船弁慶

前後之替
早装束

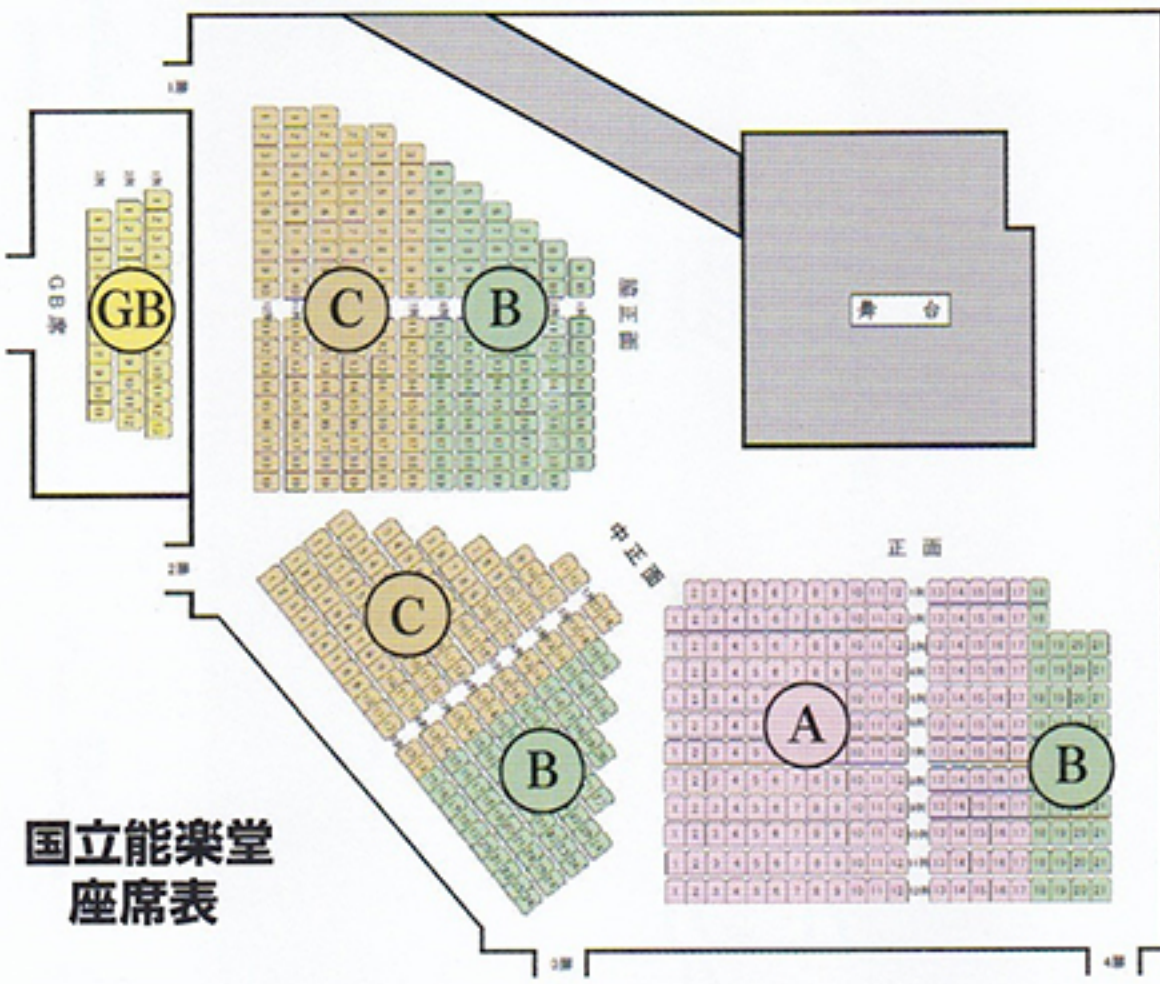
摂津の国・大物の浦。兄・頼朝と不和となった九郎判官義経は、弁慶たちを引きつれ西国へ落ち延びる途中である。弁慶の進言で、静御前をここから帰すことになる。別れの酒宴で謡い舞った静は、涙ながらに立ち去る。

海上に漕ぎ出した船。見る間に海の様子が変わり、大嵐が吹きすさぶ。海上に出現した平家一門の怨霊。新中納言知盛の霊が襲い掛かるが、弁慶の法力には勝てず、波間に消えていく。

「橘香会」みどころ講座

能「三輪」「船弁慶」について演者が解説致します。

【日時】10月15日(土)13:00~14:30
【場所】梅若万三郎家能舞台(渋谷区西原1-4-2)
【受講料】1,000円(※橘香会チケット購入者は無料)



入場料

- A指定席 10,000円
- B指定席 8,000円
- C指定席 6,000円
- GB指定席 5,000円

※学生各席3,000円引き

お問合せ・お申込 Information, Ticket office
公益財団法人 梅若研能会
Umewaka-kennohkai
〒151-0066 渋谷区西原1-4-2

TEL.03(3466)3041

梅若研能会 検索

【HP】http://www.umewakakennohkai.com/
【E-mail】staff@umewakakennohkai.com

